H-D用　ETCロックケース

MADE IN OSAKA

販売元：寺田モータース
www.teradamotors.com

お買い上げ誠にありがとうございます。ETCロックケース（以下：本製品）は、ETC車載器本体（以下：車載器）を、ETCセットアップ店（以下：販売店）にてご購入の際、同時に販売店にて取り付けする事を前提としております。既に装着後の車載器に取り付ける際は、販売店にご相談ください。車載器の取り付配線取り回し、アンテナ受信確認等は、車載器メーカーの要領書に基づき実施してください。

安全上のご注意

・本製品を取り付けることにより、車載器の性能を低下させる恐れのある場合又は、本製品を確実に取り付け出来ない様な改造等が行われている場合は、取り付けする事が出来ません。
・適応ETC車載器にのみ お使い下さい。取り付け後は、本製品のスムーズな開閉、動作を確認して下さい。確認事項は、2人以上で実施してください。

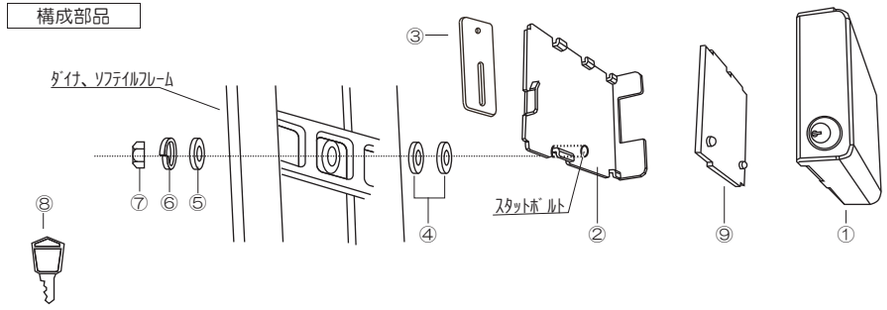
⚠危険　指示に従わない場合、死亡または重傷に至るもの。

・ハンドル操作時、本製品とフロントフォーク、ブレーキホース等と干渉しないことを確認して下さい。
・フルボトム時、本製品とフェンダー、タイヤ、ブレーキホース等と干渉しないことを確認して下さい。
・コーナリングも想定し、フルボトムの状態で、ハンドル操作を行い、ケースとフロントフォーク、フェンダー、タイヤ、ブレーキホース、配線等と干渉しないことを確認して下さい。
・取付後のアンテナ（受信）、表示器（ランプ）の動作確認は、ゲート通過時にゲートが開かず、死亡事故へつながりますので、慎重に実施してください。

⚠危険　指示に従わない場合、死亡または重傷に至る可能性があるもの。

・ケース取付用ボルト、ナットは、確実に締め付けて下さい。締め付けが不十分な場合は、走行中に落下する可能性が高くなります。落下する事で、搭乗者、他の人、物に被害に至らしめる可能性があります。
・両面テープを貼り付ける面は、汚れ、油分をしっかりと落としてください。
・取り付け及び取り扱い時に、車載器の配線、アンテナケーブルを無理に引っ張ったり、強く曲げたりしないで下さい。動作不良の原因となります。

構成部品

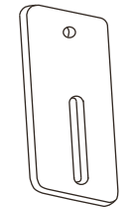


呼番	品　名	個数	呼番	品　名	個数
①	カバー	1	⑥	Sワッシャー　8㎜	1
②	ベース	1	⑦	ロックナット　8㎜	1
③	ステー L型、I型　別売り	-	⑧	鍵	2
④	カラー　8㎜（外径18㎜）	2	⑨	スペーサー（ミツバ用）別売り	1
⑤	平ワッシャー　8㎜（外径16㎜）	1	⑩	その他ご用意頂く物　両面テープ	適量

使用ステー

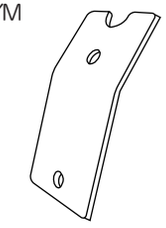
1、I型ステー：DYI

ダイナ 、ソフテイルモデルに使用



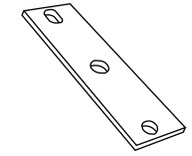
2、ダイナ用前下ステー：DYM

ダイナモデルに使用



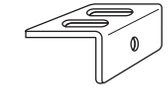
3、D型用裏ステー：TRU

ツーリングモデルでD型と共に使用



4、L型ステー：SPL

スポーツスターモデルで使用

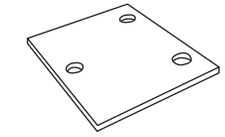


5、O型ステー：SFO

ツーリングモデルでD型と共に使用

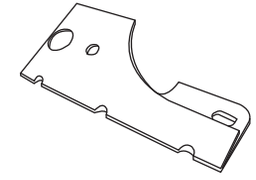
6、スポーツスター用前下ステー：SPM

スポーツスターモデルで使用



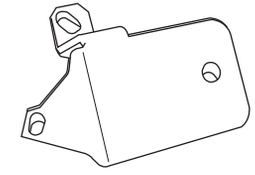
7、スポーツスター用中下ステー：SPN

スポーツスターモデルで使用



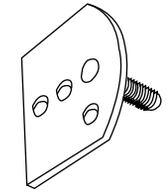
8、スポーツスター用横付けステー：SPY

スポーツスターモデルで使用



9、 D2型ステー: TRD

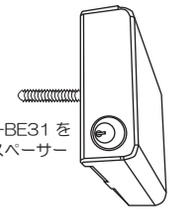
ソフテイル、ツーリングモデルに使用



©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

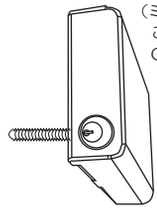
ロックケース

1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N



（ミツバ製車載器 MSC-BE31 をご使用の場合は別途スペーサー G31 が必要です。）

2、ロックケース（下ボルト）：EC11-S

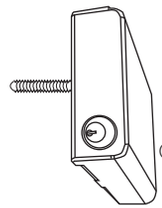


（ミツバ製車載器 MSC-BE31 をご使用の場合は別途スペーサー G31 が必要です。）

3、ロックケース（センター短ボルト）：EC11-M

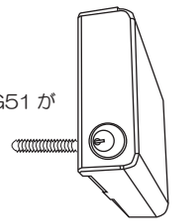
（ミツバ製車載器 MSC-BE31 をご使用の場合は別途スペーサー G31 が必要です。）

4、ミツバ社製車載器
MSC-BE51用ロックケース（センター長ボルト）：EC51-N



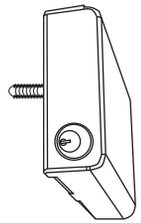
（別途スペーサー G51 が必要です。）

5、ミツバ社製車載器
MSC-BE51用ロックケース（下ボルト）：EC51-S



（別途スペーサー G51 が必要です。）

6、ミツバ社製車載器
MSC-BE51用ロックケース（センター短ボルト）：EC51-M



（別途スペーサー G51 が必要です。）

	ロックケース名称	適応 ETC 車載器
1	EC11-N	日本無線(株) 型式：JRM-11
2	EC-11S	
3	EC11-M	
4	EC51-N	(株)ﾐﾂﾊﾞ ｻﾝｺｰﾜ 型式：MSC-BE51 MSC-BE51W
5	EC51-S	
6	EC51-M	

施錠・開放の方法

・ロックされた状態でのみ、鍵の抜き差しが出来ます。

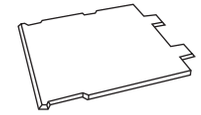
※エンジンガードは、純正品を対象としております。
※FXS2011以降および、ABS付車両に関しましては、本装置を取り付けた場合に、車両の他の部品とのクリアランスが少なくなります。フルボトム、旋回時でのクリアランスに、ご注意ください。
※ETC車載器本体のモデルチェンジにより、取り付け方法が異なる場合があります。
・詳細は、販売店スタッフまで、お問い合わせください。

付属の透明袋活用

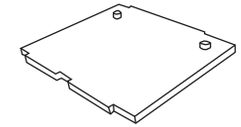
・付属の透明袋（110×79㎜）は、カバー①の内面に貼り付けることにより、本製品取扱説明書、その他書類の収納にご利用いただけます。
・透明袋には、防水効果はありません。

ミツバ社製車載器用スペーサー

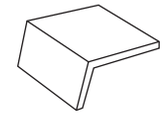
1、ミツバ製MSC-BE51用スペーサー: G51



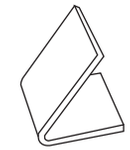
2、ミツバ製MSC-BE31用スペーサー: G31



アンテナステー



1、アンテナステー（L型）：ANL-B(S)



2、アンテナステー（V型）：ANV-B(S)

©2014 TERADA MOTORS 禁無断転載・複写・複製

スペーサーに関して　ミツバ製車載器をご利用の場合

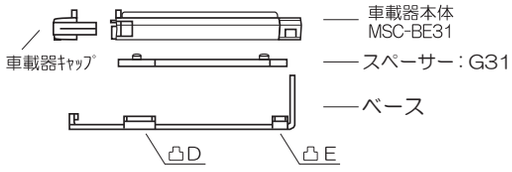


図 -1

・ミツバ製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合、ETC ロックケース（EC11-N、EC11-S、EC11-M）に加え別途専用スペーサー :G31 が必要となります。（図 -1 参照）
（MSC-BE51、MSC-BE51W をご使用の場合スペーサーには G51、ETC ロックケースは EC51-N、EC51-S または EC51-M をご使用ください。）

図 -2-1

※左図はミツバ製車載器 MSC-BE31 を取り付ける場合の図となりますが MSC-BE51、MSC-BE51W 使用時も取り付け方法はほぼ同じです。

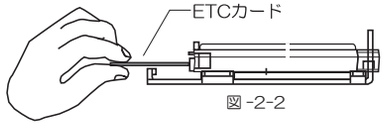


図 -2-2

※専用スペーサー未装着の場合、車載器の蓋の開閉、ETC カードの抜き差しができない状態になります。（図 -2-1、図 -2-2 参照）

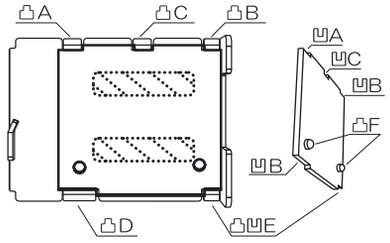


図 -3

・それぞれ対応する凹凸をご確認の上スペーサーをベースに取り付けてください。（図 -3 参照）

・A ～ D の凹凸を合わせます。位置合わせのため、左右対称となっておりますのでひとつの方向にしかはまりません。

※位置確認後市販の両面テープで確実に固定してください。

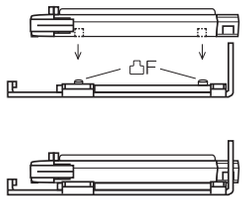


図 -4

・スペーサーを取り付けたベースに ETC 車載器を取り付けてください。（図 -4 参照）

・車載器の配線側がベースの切欠き方向に向くようにします。スペーサーの凸 F と、車載器の裏側にある凹 2 箇所をはめ合せて下さい。

・ETC 車載器に彫られた「ETC MITSUBA」のロゴがスペーサーと向き合うように設置します

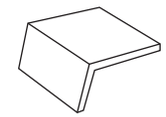
※位置確認後市販の両面テープで確実に固定してください。

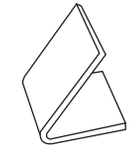
・最後に ETC 車載器の蓋がスムーズに開閉することを確認してください。

アンテナステーに関して　ステーのご利用方法

販売元：寺田モータース
www.teradamotors.com

アンテナを固定するステーには AVL-B(S) と ANV-B(S) の２種類がございます。
ご使用になる場所、取り付け方法に応じてご使用ください。





1、アンテナステー（L型）：ANL-B(S)　　2、アンテナステー（V型）：ANV-B(S)

取り付けに際し、ステーを車体にボルト等で固定する場合は穴あけ加工が必要となります。

（アンテナステー使用例）

アンテナステー（L 型）：ANL-B(S) を利用して 2013 年の XL1200X トリプルツリー下部へ取り付け

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

I型ステー：DYI の取り付け

1. I型ステーをエンジンガードとフレームの間に挟むように取り付け、ボルトとナットで固定する。
2. 緩めていたエンジンガード下部のボルトを締めこむ。

ETC ロックケースの取り付け

1　ステーの穴にロックケース本体のスタッドボルトを通す。

2. ロックケース本体とフレームの間③には市販の両面テープを貼付します。

※ケース本体とステーの間には、必ず市販の両面テープを貼付してください。落下・振動防止にもつながります。

3. ETC ロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認する。
4. ETC ロックケースと車両本体とのクリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

取り付け方法１　I 型ステー：DYI を使用しての取り付け

取り付け例

2012 年のローライダー（エンジンガード付き）に I 型ステーを使用し車体前部へ取り付け

対応車種

2015 年までのエンジンガードを装着したダイナモデル
但し以下の車両は除く
・2014 年以降の FXDL
・FLD

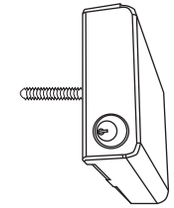
ダイナモデル（エンジンガード付き）への取り付け

※2015 年以降の FXDL ローライダーモデルはフロントにホーンが取り付けられているためロックケースをネック下に取り付けることができません。ホーンブラケットのネジ部分を加工していただくか前下ステーを利用し車体下部へ取り付けて下さい。

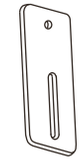
※FLD スイッチバックモデルはフェンダーとのクリアランス不足のためネック下に取り付けることができません。前下ステーを使用して車体下部への取り付けを行ってください。

〈 使用する ETC ロックケース、ステー 〉

1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N



2、I 型ステー: DYI



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-N、および
スペーサー：G51 をご使用ください。

ボルトの取り外し

1. エンジンガード上部を固定するボルト①を取り外す。

1. エンジンガード下部を留めるボルト②を緩める。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

取り付け方法２

前下ステー（ダイナ用）：DYM を使用しての取り付け

取り付け例

2014 年の FLD スイッチバック
（エンジンガード付き）に
前下ステー：DYM を使用して取り付け

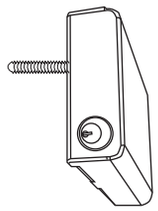
対応車種

2015 年までのダイナモデル

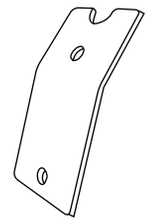
ダイナモデル（エンジンガード付き）への取り付け

〈 使用する ETC ロックケース、ステー 〉

1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N



2、前下ステー: DYM



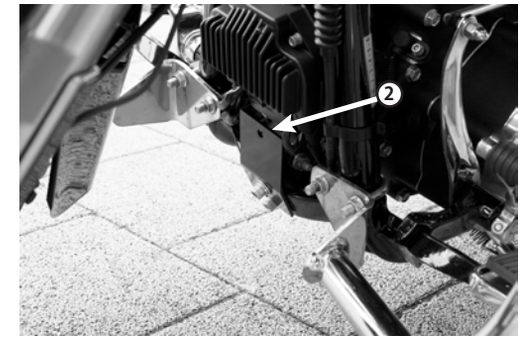
※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-N、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。。

ボルトの取り外し

1. 縦に並んだ２本のボルト①を
緩め、上部のボルトは取り外す。

前下ステー：DYM の取り付け



1. ステーに開いた２つの穴を①のボルトに
合わせ取り付ける。

ETC ロックケースの取り付け

1　ステーの穴②にロックケース本体の
スタッドボルトを通す。

2. ロックケース本体とフレームの間③には
市販の両面テープを貼付します。
※ケース本体と前下ステーの間には、必ず
市販の両面テープを貼付してください。
落下・振動防止にもつながります。

3. ETC ロックケースカバーがベースに
対してスムーズにスライドするかを
確認する。

4. ETC ロックケースと車両本体との
クリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

取り付け方法３ | L 型ステー：SPL を使用しての取り付け

取り付け例

2013 年モデルの XL1200X に
L 型ステー：SPL を使用して
取り付け

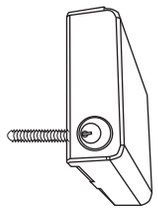
対応車種

2004 年以降のエンジンガードが取り付けられていないスポーツスターモデル

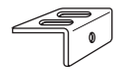
スポーツスターモデル（エンジンガード無し）への取り付け

〈 使用する ETC ロックケース、ステー 〉

1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S



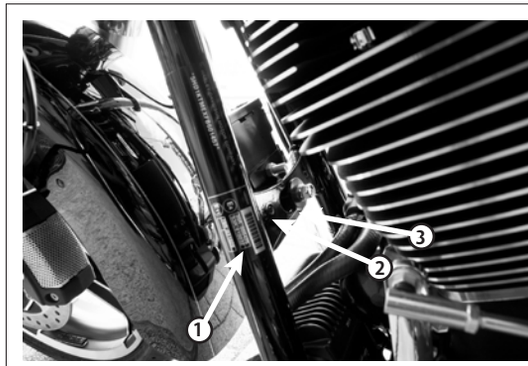
2、L型ステー：SPL



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-S、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。。

ホーンの配線、ホーンを固定している３本のボルトの取り外し



1. ホーンの配線①を取り外す。
2. ホーンを固定している３つの
ボルト②を外す。
3. ホーンを取り外す。
4. 上部のボルト③2 本を外す。

L 型ステーの取り付け

1. ③のボルトを利用して L 型ステーを
固定する。
2. 取り外したホーンを②の３本のボルトで
固定する。
3. ホーンの配線①を接続する。

ETC ロックケースの取り付け

1 L 型ステーの穴にロックケース本体の
スタッドボルトを通します。
2. ロックケース本体と L 型ステーの間④には
市販の両面テープを貼付します。
※ケース本体と L 型ステーの間には、必ず
市販の両面テープを貼付してください。
落下・振動防止にもつながります。
3. ETC ロックケースカバーがベースに
対してスムーズにスライドするかを
確認する。
4. ETC ロックケースと車両本体との
クリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS 禁無断転載・複写・複製

取り付け方法４

スポーツスター用
前下ステー：SPM を使用しての取り付け

取り付け例

2013 年モデルの XL1200X に
前下ステー：SPM を使用して取り付け

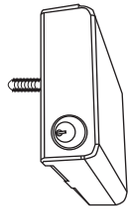
対応車種

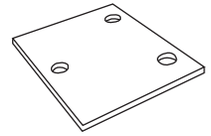
2004 年以降のエンジンガードが取り付けられていないスポーツスターモデル

スポーツスターモデル（エンジンガード無し）への取り付け

〈 使用する ETC ロックケース、ステー 〉

1、ロックケース（センター短ボルト）：EC11-M　2、前下ステー：SPM





※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-M、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。。

前下ステー：SPM の取り付け

1. 車体前部、フレームの２つの穴①を
利用しステーを取り付けます。

2. 前下ーステー：SPM を取り付け、
ボルトとナットで固定します。

ETC ロックケースの取り付け

1　前下ステーの穴にロックケース本体の
スタッドボルトを通す。

2. ロックケース本体とステーの間②には
市販の両面テープを貼付します。

※ケース本体とステーの間には、必ず
市販の両面テープを貼付してください。
落下・振動防止にもつながります。

3. ETC ロックケースカバーがベースに
対してスムーズにスライドするかを
確認する。

4. ETC ロックケースと車両本体との
クリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

取り付け方法５

スポーツスター用
中下ステー：SPN を使用しての取り付け

取り付け例

2014 年モデルの XL883N に
中下ステー：SPN を使用して取り付け

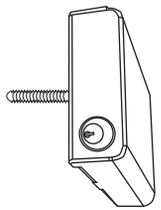
対応車種

ABS 付きモデルを除く 2014 年以降のスポーツスターモデル

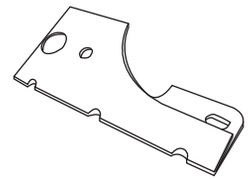
スポーツスターモデル（エンジンガード無し / 有り）への取り付け

〈 使用する ETC ロックケース、ステー 〉

1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N



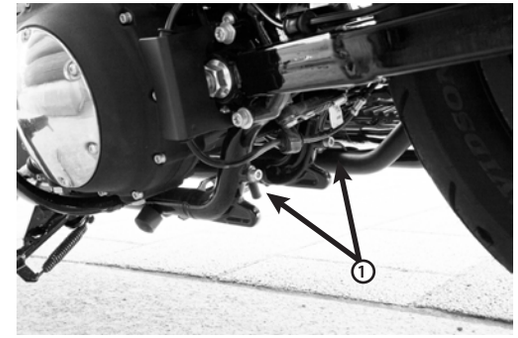
2、中下ステー：SPN



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-N、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。。

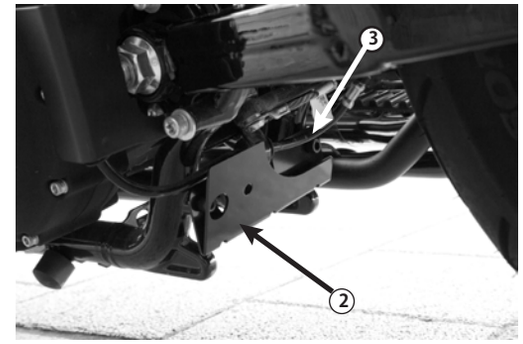
車体下部、ボルトの取り外し



1. 車体後部、後輪手前の２本のボルト①を取り外します。

※車両によってはボルトではなくキャップが取り付けられている車両も存在します。

中下ステー：SPM の取り付け



1. 中下ステー：SPN を２本のボルトを利用して取り付けます。
2. 左側のボルトはステーの穴②を貫通させて取り付けます。
3. ステーに設けられた切欠き③が車体右側になるように取り付けます。

※ステーの切欠き③を利用し配線やブラケットとステーの干渉を避けるようにして下さい。

ETC ロックケースの取り付け

1　中下ステーの穴にロックケース本体のスタッドボルトを通す。
2. ロックケース本体とステーの間④には市販の両面テープを貼付します。

※ケース本体とステーの間には、必ず市販の両面テープを貼付してください。
落下・振動防止にもつながります。

3. ETC ロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認する。
4. ETC ロックケースと車両本体とのクリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

取り付け方法６

スポーツスター用
横付けステー：SPY を使用しての取り付け

取り付け例

2013 年の XL1200X に
横付けステー：SPY を使用して
取り付け

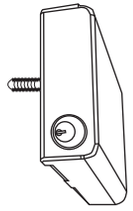
対応車種

2013 年以前のスポーツスターモデル

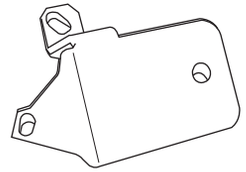
スポーツスターモデル（エンジンガード無し）への取り付け

〈使用する ETC ロックケース、ステー〉

1、ロックケース（センター短ボルト）：EC11-M



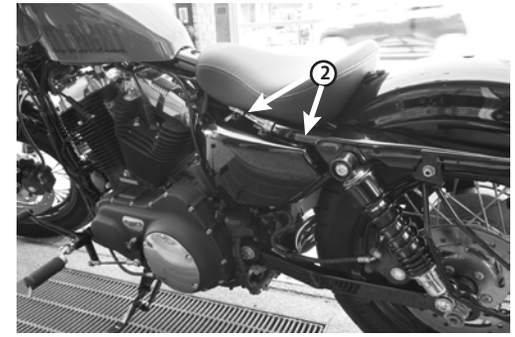
2、横付けステー：SPY



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-M、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。。

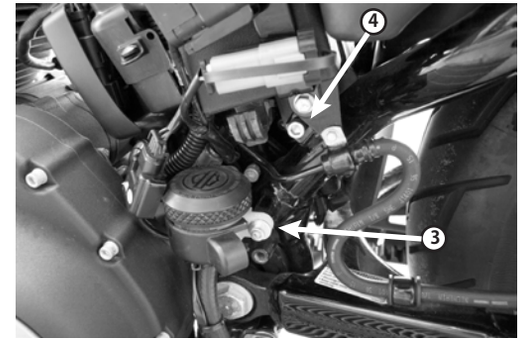
サイドカバーの取り外し



※サイドカバーは下部の 1 点①で引っかけられ
上部の 2 箇所②ではめ込まれて取り付けられて
います。

1. 左サイドカバーを取り外す。

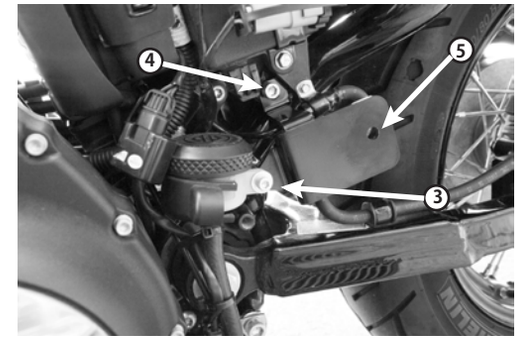
ボルトの取り外し



1. リアブレーキのマスターシリンダーを
固定しているボルト③を取り外す。

2. ④のボルトを取り外す。

横付ステー：SPY の取り付け



1. 取り外したボルト③、④を利用して
ステーを取り付ける。

2. ③のボルトに関して、先にステー、次いで
マスターシリンダーの順番で組み込む。

©2014 TERADA MOTORS 禁無断転載・複写・複製

ETC ロックケースの取り付け

1　横付ステーの穴⑤にロックケース本体のスタッドボルトを通す。

2. ロックケース本体とステーの間⑥には市販の両面テープを貼付します。

※ケース本体とステーの間には、必ず市販の両面テープを貼付してください。落下・振動防止にもつながります。

3. ETC ロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認する。

4. ETC ロックケースと車両本体とのクリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

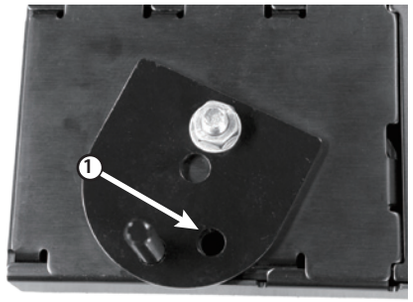
D2 型ステーの取り付け

1　ボルトを取り外した穴に D 型ステーのボルト部分を差し込みます。

2　エンジンガードが取り付けられていない車両への組み付け時は D 型ステーとフレームとの間（①）に M8 ワッシャーを挟み込んで下さい。

3　ステーは車両を前方からみて左側へ若干傾いた状態で取り付けます。
（ETC ケース、および配線がブレーキラインと干渉することを防ぐため）

ETC ロックケースの取り付け _1



1　ステーに ETC ロックケース本体を取り付けます。

2　ケースとステーの配置、およびステーの使用する穴は左の写真を参考にしてください。

3　ステーに圧入されたボルトの右に位置する穴①を ETC ロックケース本体の穴と合わせることで取り付け位置が確定します。

ETC ロックケースの取り付け _2

1　ETC ロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認してください。

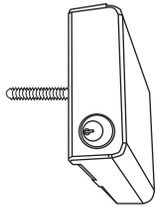
2　フロントフォークを左右に振った場合、フロントフォークが沈み込んだ場合の ETC ロックケースと車両本体間のクリアランスを必ず確認してください。

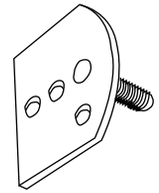
©2015 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

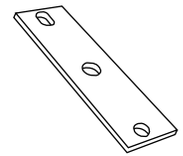
ツーリングモデル（ツインクールドモデル）への取り付け

〈使用するETCロックケース、ステー〉

1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N　2、D型ステー：TRD　3、D型裏ステー：TRU





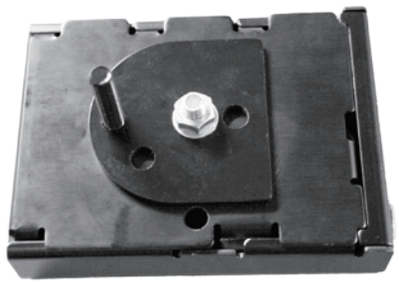


※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-N、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。

フレームへステーの取り付け

1. D 型裏ステー :TRU をフレームに仮留めする。
2. 取り付け位置はレギュレター上部、①の裏側。
3. ①のボルトとステーの穴を合わせて取り付ける。



4. D型ステー :TRD をロックケースに取り付ける。
ロックケース本体とステーの間には市販の両面テープを貼付します。

※ケース本体とステーの間には、必ず
市販の両面テープを貼付してください。
落下・振動防止にもつながります。

ロックケースの取り付け

1. ステーを取り付けたロックケースを車体に取り付ける。

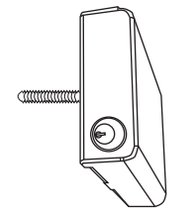
※D 型裏ステーの左右にある穴が
車体のボルト①と一致するとロックケースの
取り付け位置が一点に決まります。

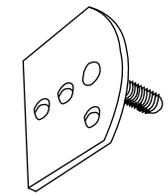
2. ロックケースのボルトがD 型裏ステーの中央にある穴を貫通するように取り付ける。
3. ナットを締めこみ固定する。
4. ETC ロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認する。
5. ETC ロックケースと車両本体とのクリアランスを確認する。

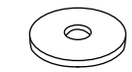
ツーリングモデル（ツインクールド以外）への取り付け

〈使用するETCロックケース、ステー〉

1、ロックケース（センター長ボルト）：EC11-N　2、D型ステー：TRD　3、O型ステー：SFO







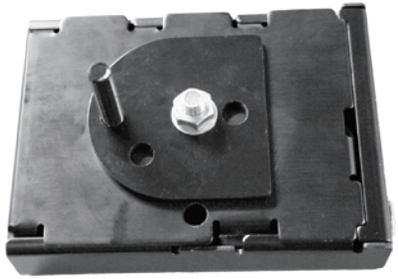
※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-N、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。

※ツインクールドモデル以外のツーリングモデルにおいてD 型裏ステーを使用
される場合、フレームの穴に 2 本ボルトを追加していただくことでロックケースの
取り付け位置を一点に決定することが可能です。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

ロックケースへのＤ型ステーの取り付け



1. D型ステー ;TRD をロックケースに
   取り付ける。
   ロックケース本体とステーの間には市販の
   両面テープを貼付します。

   ※ケース本体とステーの間には、必ず
   市販の両面テープを貼付してください。
   落下・振動防止にもつながります。

ロックケースの取り付け

1. ステーを取り付けたロックケースを
   車体に取り付ける。
2. Ｄ型ステーのボルトがフレーム中央の
   楕円形の穴を貫通するように取り付ける。
3. ナットが穴を抜けてしまうことを防ぐ
   ために Ｏ型ステー：SFO①をフレームと
   ナットの間に挟む。
4. ナットを締めこみ固定する。
5. ETC ロックケースカバーがベースに
   対してスムーズにスライドするかを
   確認する。
6. ETC ロックケースと車両本体との
   クリアランスを確認する。

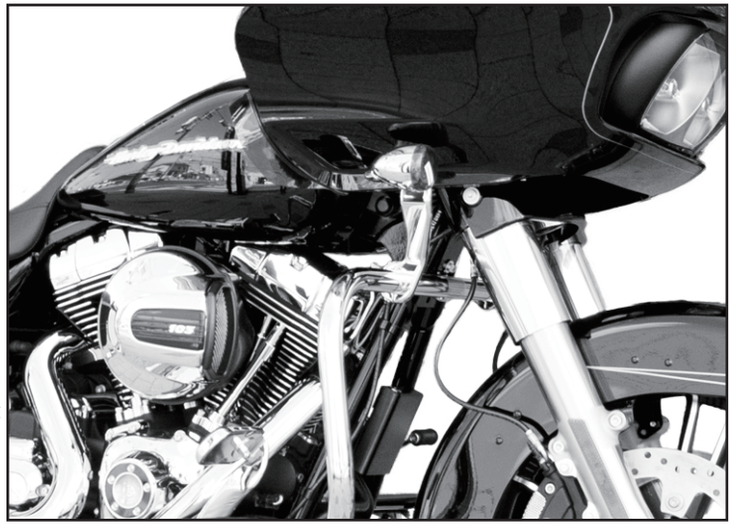
©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

取り付け方法 7

D 型ステー：TRD を使用しての取り付け

取り付け例

2014 年モデルの FLSTF に
D 型ステー：TRD を
使用して取り付け



2015 年の FLTR モデルに
D 型ステー：TRD、
D 型裏ステー：TRU を使用して
取り付け。

※ロックケースを
D 型ステー :TRD と
O 型ステー :SFO を使用し
取り付けた場合も取り付け位置、
取り付け状態は同じです。

※ツーリングモデルはツインクールド
モデル、通常モデル共に写真の位置
への取り付けとなります。

対応車種

2011 年以降のソフテイルモデル
2014 年以降のツーリングモデル

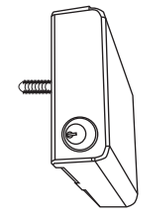
※2014 年以降の FXSB モデル（エンジンガード無し）はホーンブラケットのネジ穴を加工することでステーを
使用せずにロックケースの取り付けが可能です。

ソフテイルモデル（ABS 付き）への取り付け

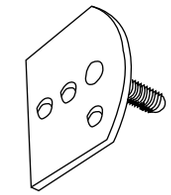
※取り付け後、走行前に必ずハンドルを左右に切りケースとの接触がないか、フロントフォークが
フルボトムした際にフェンダーとロックケースに接触がないかを確認してください。

〈 使用する ETC ロックケース、ステー 〉

1、ロックケース（センター短ボルト）: EC11-M



2、 D型ステー: TRD



3、 M8ワッシャー（エンジンガードの付いていないソフテイルモデルに取り付ける場合に使用）

※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。
※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-M、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。。

ボルトの取り外し

1　ステー取り付け場所のボルト①を
取り外します。

※写真はエンジンガードが取り付けられた車両です。
エンジンガードが取り付けられていない車両、
および①の箇所にボルトが取り付けられていない
車両に関してはこの項目の作業は不要です。

©2015 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

取り付け方法８　O 型ステー：SFO を使用しての取り付け

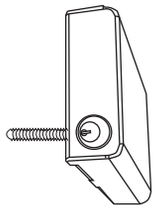
取り付け例

2009 年モデルの FLSTF に
O 型ステー：SFO を使用して
取り付け

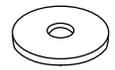
ソフテイルモデル（エンジンガード無し）への取り付け

〈 使用する ETC ロックケース、ステー 〉

1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S



2、 O型ステー: SFO



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-S、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。。

対応車種

2010 年以前のツインカムソフテイルモデル

※エンジンガード装着車を除く。

ロックケースへのステーの取り付け

1. O 型ステーをロックケースのボルトに
取り付ける。

ETC ロックケースの取り付け

1　フレームの該当箇所にロックケース本体の
スタッドボルトを通す。

2. ETC ロックケースカバーがベースに
対してスムーズにスライドするかを
確認する。

3. ETC ロックケースと車両本体との
クリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

取り付け方法９　ステー無しでの取り付け

取り付け例

2012 年のローライダーに
ステー無しで取り付け

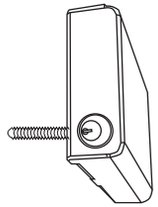
ダイナモデル（エンジンガード無し）への取り付け

※2015 年以降の FXDL ローライダーモデルはフロントに取り付けられたホーンの関係でロックケースをネック下に取り付けることができません。前下ステーを利用し車体下部へ取り付けて下さい。

※FLD スイッチバックモデルはフェンダーとのクリアランス不足のためネック下に取り付けることができません。前下ステーを使用して車体下部へ取り付けを行ってください。

〈 使用する ETC ロックケース、ステー 〉

1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S



2、 ステー不要

※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

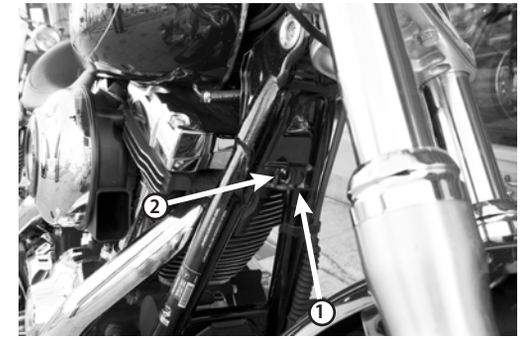
※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-S、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。

対応車種

エンジンガードの付いていないダイナモデル
エンジンガードを装着した 2010 年以前のソフテイルモデル

※FLD モデル、2014 年以降の FXDL を除く。

クリアランスの確認



1. ケース本体を取り付け位置①に仮留めしフロントフォーク、フェンダー等とのクリアランスを確認する。

※フロントフォークを左右に切った場合、フロントフォークがフルボトムした場合のケースとフェンダー間のクリアランスを確認する。

ETC ロックケースの取り付け

1　フレームの穴②にロックケース本体のスタッドボルトを通す。

2. ロックケース本体とフレームの間③には市販の両面テープを貼付します。

※ケース本体とフレームの間には、必ず市販の両面テープを貼付してください。落下・振動防止にもつながります。

3. ETC ロックケースカバーがベースに対してスムーズにスライドするかを確認する。

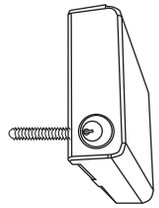
4. ETC ロックケースと車両本体とのクリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製

ソフテイルモデル（エンジンガード有り）への取り付け

〈使用するETC ロックケース、ステー〉

1、ロックケース（下ボルト）：EC11-S　　2、 ステー不要



※ミツバ社製車載器 MSC-BE31 をご利用の場合は別途スペーサー：G31 をご用意ください。

※ミツバ社製車載器 MSC-BE51、MSC-BE51W をご利用の場合は EC51-S、
およびスペーサー：G51 をご使用ください。。

エンジンガード取り付けボルトの取り外し

1. エンジンガードを取り付けている
ボルト①を取り外す。

ETC ロックケースの取り付け

1　エンジンガードの取り付けボルト①を
はずした箇所にロックケース本体の
スタッドボルトを通しナットで固定する。

2. ETC ロックケースカバーがベースに
対してスムーズにスライドするかを
確認する。

3. ETC ロックケースと車両本体との
クリアランスを確認する。

©2014 TERADA MOTORS　禁無断転載・複写・複製